

2019年8月7日

## 2020年3月期 第1四半期決算について

株式会社 広島銀行（頭取 部谷 俊雄）では、2020年3月期 第1四半期決算を実施いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社 広島銀行 総合企画部  
TEL (082) 247-5151 (代表)

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社 広島銀行  
 コード番号 8379 URL <https://www.hirogin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計課長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 部谷 俊雄  
 (氏名) 内田 一弘  
 TEL 082-247-5151  
 特定取引勘定設置の有無 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	31,112	1.0	9,926	5.3	6,976	6.5
2019年3月期第1四半期	30,801	2.1	9,430	5.9	6,553	△21.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 5,211百万円 (8.1%) 2019年3月期第1四半期 4,821百万円 (△64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.40	22.38
2019年3月期第1四半期	21.06	21.03

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,425,775	489,497	5.1
2019年3月期	8,952,671	487,391	5.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 489,321百万円 2019年3月期 487,215百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳 2019年3月期第2四半期末 記念配当1円00銭 2019年3月期末 記念配当1円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	0.2	18,500	6.0	12,500	40.13
通期	124,500	2.7	37,000	△0.1	25,500	△0.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	312,633,171 株	2019年3月期	312,633,171 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,197,042 株	2019年3月期	1,216,810 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	311,425,737 株	2019年3月期1Q	311,170,130 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	.....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	.....	P. 2
(3) 連結業績予想に関する説明	.....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	.....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	.....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	.....	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	.....	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	.....	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.....	P. 6
(企業結合等関係)	.....	P. 6
2019年度第1四半期 決算説明資料	.....	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

連結経営成績につきましては、経常収益は、国債等債券売却益の増加によるその他業務収益の増加を主因として、前年同期比3億11百万円増加し、311億12百万円となりました。一方、経常費用は、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少を主因として、前年同期比1億85百万円減少し、211億86百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比4億96百万円増益の99億26百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億23百万円増益の69億76百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、貸出金は、事業性貸出等と個人ローンがともに増加した結果、前連結会計年度末比2,228億円増加の6兆2,436億円となりました。預金等(譲渡性預金含む)は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも増加し、前連結会計年度末比3,876億円増加の7兆8,517億円となりました。有価証券は、前連結会計年度末比388億円増加し、1兆2,147億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

2020年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日公表の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,432,022	1,624,097
コールローン及び買入手形	19,953	16,344
買入金銭債権	7,813	7,647
特定取引資産	5,839	5,599
金銭の信託	10,312	8,264
有価証券	1,175,920	1,214,760
貸出金	6,020,840	6,243,632
外国為替	7,536	10,116
その他資産	91,384	113,195
有形固定資産	95,392	95,058
無形固定資産	9,530	9,422
退職給付に係る資産	65,106	66,264
繰延税金資産	734	666
支払承諾見返	43,479	44,769
貸倒引当金	△33,194	△34,065
<b>資産の部合計</b>	<b>8,952,671</b>	<b>9,425,775</b>
<b>負債の部</b>		
預金	7,253,828	7,389,940
譲渡性預金	210,327	461,767
売現先勘定	88,521	75,121
債券貸借取引受入担保金	260,108	329,201
特定取引負債	3,856	3,607
借入金	516,331	554,553
外国為替	339	569
信託勘定借	23	21
その他負債	60,935	49,138
退職給付に係る負債	39	40
役員退職慰労引当金	23	20
睡眠預金払戻損失引当金	3,558	3,255
ポイント引当金	120	107
株式給付引当金	341	388
本店建替損失引当金	846	846
特別法上の引当金	39	38
繰延税金負債	8,947	9,278
再評価に係る繰延税金負債	13,610	13,610
支払承諾	43,479	44,769
<b>負債の部合計</b>	<b>8,465,280</b>	<b>8,936,277</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
資本金	54,573	54,573
資本剰余金	30,740	30,740
利益剰余金	329,367	333,220
自己株式	△1,040	△1,022
株主資本合計	413,641	417,511
その他有価証券評価差額金	35,676	36,017
繰延ヘッジ損益	△2,016	△3,951
土地再評価差額金	27,792	27,792
退職給付に係る調整累計額	12,121	11,951
その他の包括利益累計額合計	73,574	71,809
新株予約権	176	176
純資産の部合計	487,391	489,497
負債及び純資産の部合計	8,952,671	9,425,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
経常収益	30,801	31,112
資金運用収益	19,503	19,146
(うち貸出金利息)	15,293	15,403
(うち有価証券利息配当金)	3,845	3,422
信託報酬	41	41
役務取引等収益	7,491	6,588
特定取引収益	519	632
その他業務収益	907	2,502
その他経常収益	2,338	2,201
経常費用	21,371	21,186
資金調達費用	2,009	2,211
(うち預金利息)	538	506
役務取引等費用	1,725	2,033
その他業務費用	1,581	955
営業経費	14,978	14,719
その他経常費用	1,076	1,266
経常利益	9,430	9,926
特別利益	1	1
固定資産処分益	0	—
金融商品取引責任準備金取崩額	1	1
特別損失	83	7
固定資産処分損	7	7
減損損失	76	—
税金等調整前四半期純利益	9,348	9,919
法人税、住民税及び事業税	1,348	1,800
法人税等調整額	1,445	1,142
法人税等合計	2,794	2,943
四半期純利益	6,553	6,976
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,553	6,976



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	6,553	6,976
その他の包括利益	△1,732	△1,764
その他有価証券評価差額金	△1,631	342
繰延ヘッジ損益	△21	△1,934
退職給付に係る調整額	△80	△170
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△2
四半期包括利益	4,821	5,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,821	5,211

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(連結子会社の吸収合併)

当行は、2018年11月7日開催の取締役会において、当行の連結子会社であるひろぎんウェルスマネジメント株式会社を吸収合併することを決議し、2019年4月1日付で合併いたしました。

## 1. 取引の概要

## (1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称	株式会社広島銀行
事業の内容	銀行業
被結合企業の名称	ひろぎんウェルスマネジメント株式会社
事業の内容	保険代理業

## (2) 企業結合日

2019年4月1日

## (3) 企業結合の法的形式

当行を存続会社、ひろぎんウェルスマネジメント株式会社を消滅会社とする吸収合併

## (4) 結合後企業の名称

株式会社広島銀行

## (5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化によるグループ経営の一層の強化及びサービスの一層の充実を目的として吸収合併するものです。

## 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## 2019年度第1四半期 決算説明資料

## 1. 損益の状況

- ・コア業務純益は、貸出金利息は増加したものの、有価証券利息配当金の減少を主因とする資金利益の減少及び役務取引等利益の減少を主因として、前年同期比17億6百万円減益の81億13百万円となりました。
- ・経常利益は、国債等債券関係損益の増加などにより、前年同期比2億55百万円増益の104億44百万円となり、四半期純利益は、前年同期比3億50百万円増益の78億89百万円となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4億23百万円増益の69億76百万円となり、中間期業績予想に対する進捗率は55.8%と業績は順調に推移しております。

## 【単体】

	2019年度 第1四半期 (3ヵ月間) (A)	前年 同期比 (増減率)		2018年度 第1四半期 (3ヵ月間)
<b>経常収益</b>	<b>30,571</b>	<b>398</b>	<b>(1.3%)</b>	<b>30,173</b>
資金利益	18,028	△ 871		18,899
(うち貸出金利息)	(15,333)	(134)		(15,199)
役務取引等利益	3,312	△ 834		4,146
特定取引利益	95	4		91
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	325	△ 23		348
<b>コア業務粗利益</b>	<b>21,763</b>	<b>△ 1,724</b>	<b>(△7.3%)</b>	<b>23,487</b>
△ 経費	13,649	△ 18		13,667
(うち△人件費)	(6,965)	(246)		(7,211)
(うち△物件費)	(5,792)	(206)		(5,586)
<b>コア業務純益</b>	<b>8,113</b>	<b>△ 1,706</b>	<b>(△17.4%)</b>	<b>9,819</b>
〃 (除く投資信託解約損益)	8,113	△ 1,706	(△17.4%)	9,819
国債等債券関係損益	1,218	2,242		△ 1,024
<b>実質業務純益</b>	<b>9,331</b>	<b>536</b>	<b>(6.1%)</b>	<b>8,795</b>
株式等関係損益	1,899	41		1,858
△ 与信費用	1,100	459		641
(うち△一般貸倒引当金繰入額)	(9)	(632)		(623)
その他臨時損益	312	135		177
<b>経常利益</b>	<b>10,444</b>	<b>255</b>	<b>(2.5%)</b>	<b>10,189</b>
特別損益	166	246		△ 80
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>10,610</b>	<b>501</b>	<b>(5.0%)</b>	<b>10,109</b>
△法人税等合計	2,721	151		2,570
<b>四半期(中間)純利益</b>	<b>7,889</b>	<b>350</b>	<b>(4.6%)</b>	<b>7,539</b>

(単位:百万円)

2019年度 中間期 (6ヵ月間) 業績予想 (B)	進捗率 (A)/(B)
59,000	51.8%

18,500	56.5%
--------	-------

13,000	60.7%
--------	-------

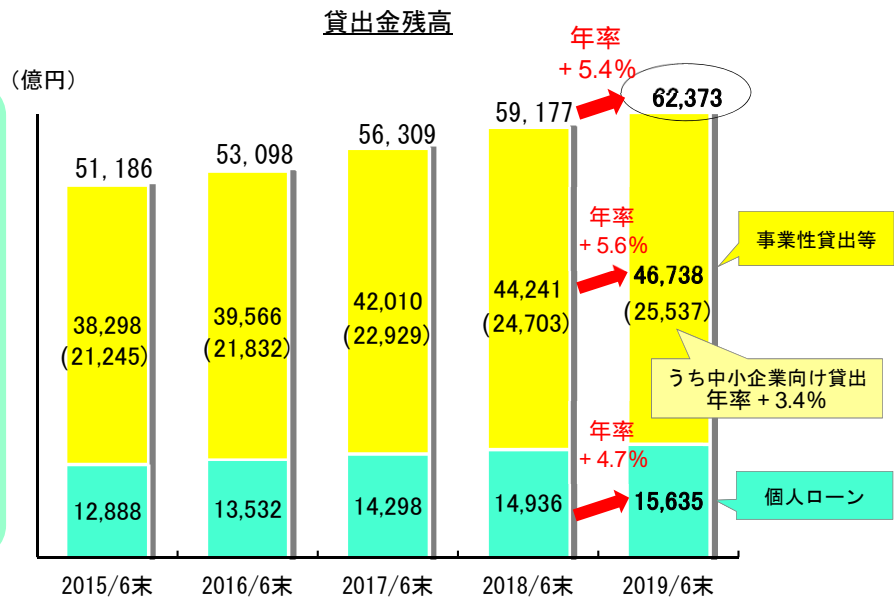
## 【連結】

経常収益	31,112	311	(1.0%)	30,801
経常利益	9,926	496	(5.3%)	9,430
親会社株主に帰属する 四半期(中間)純利益	<b>6,976</b>	423	(6.5%)	6,553

62,000	50.2%
18,500	53.7%
12,500	<b>55.8%</b>

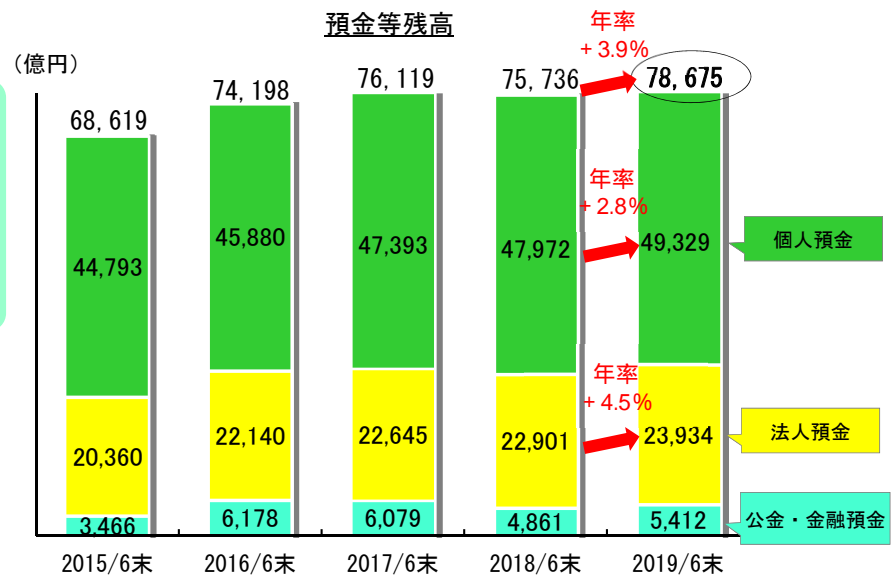
## 2. 貸出金の残高【単体】

- ・事業性貸出等と個人ローンがともに増加した結果、貸出金残高は、2018年6月末比3,196億円（年率+5.4%）増加し6兆2,373億円となりました。
- ・事業性貸出等のうち従来から重点的に取り組んでいる中小企業向け貸出金残高は、2018年6月末比834億円（年率+3.4%）増加し2兆5,537億円となりました。



## 3. 預金等の残高【単体】

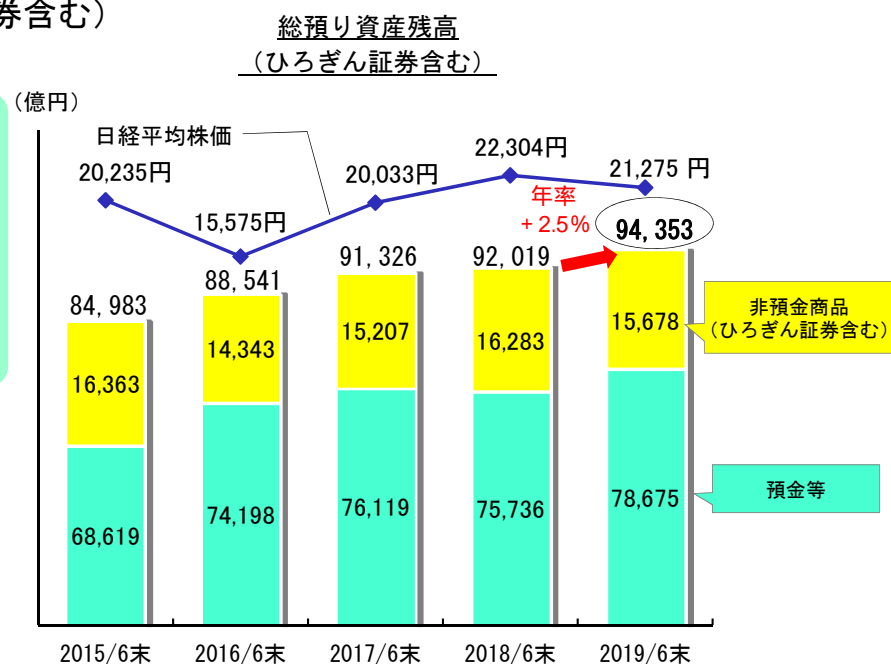
- ・預金等残高は、個人預金、法人預金、公金・金融預金とも増加した結果、2018年6月末比2,939億円（年率+3.9%）増加し7兆8,675億円となりました。



(注) 預金等は、譲渡性預金を含んでいます。

## 4. 総預り資産残高（ひろぎん証券含む）

- ・総預り資産残高は、非預金商品残高（ひろぎん証券含む）は減少したものの、預金等残高が増加した結果、2018年6月末比2,334億円（年率+2.5%）増加し9兆4,353億円となりました。



(注) ひろぎん証券の非預金商品残高は、時価ベースです。

## 5. 金融再生法ベースの 카테고리による開示不良債権額【単体】

(単位:億円、%)

	2019年6月末	2019年3月末比	2019年3月末
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	60	1
危険債権	472	15	457
要管理債権	183	△ 2	185
合計	715	14	701
総与信額	63,240	2,235	61,005
不良債権比率	1.13	△ 0.02	1.15

(注)上記の2019年6月末計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の 카테고리により分類しております。

また、同計数は、当行の定める自己査定基準に基づく2019年6月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。

## 6. 自己資本比率【連結・単体】

【連結】

(単位:億円、%)

	2019年6月末	2019年3月末比	2019年3月末
	(1) 自己資本の額	3,952	61
(2) リスク・アセット等の額の合計額	35,725	390	35,335
(3) 連結自己資本比率 (1)÷(2)	11.06	0.05	11.01

【単体】

(単位:億円、%)

	2019年6月末	2019年3月末比	2019年3月末
	(1) 自己資本の額	3,867	72
(2) リスク・アセット等の額の合計額	35,586	412	35,174
(3) 自己資本比率 (1)÷(2)	10.87	0.08	10.79

(注)信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

## 7. 有価証券評価損益【単体】

(単位:億円)

	2019年6月末				2019年3月末		
	評価損益	2019年3月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
その他有価証券	512	6	640	128	506	646	139
株式	395	△ 68	447	51	463	500	36
債券	131	31	131	0	100	100	0
その他	△ 14	43	61	75	△ 57	45	103
合計	512	6	640	128	506	646	139

(注)非上場株式等については、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表には含めておりません。